

平成25年度土地開発公社決算の概況

第三セクター等の抜本的改革による相当の成果があるものの、引き続き、効率化・経営健全化を図ることが必要

- 各市町村では、公社の存廃を含めた抜本的改革を積極的に行い、第三セクター等改革推進債の活用により、5公社が解散。
- 平成25年度末の公社の借入金に対する市町村の債務保証額は15億14百万円となり、対前年度比で135億79百万円減少（▲90.0%）。
- 債務超過の公社なし。（前年度3公社：御坊市、紀の川市、かつらぎ町）

公社数	平成25年4月1日時点	13	
	平成25年度中に解散済	5	和歌山市※、海南市※、御坊市※、かつらぎ町※、九度山町※
	平成26年4月1日時点	8	
	平成26年度中に解散済	1	有田川町
	解散に向けて検討中	1	白浜町
	当面存続	6	田辺市、紀の川市、岩出市、紀美野町、日高川町、串本町

※印は、第三セクター等改革推進債活用であることを表す。

■長期保有土地（5年以上）の状況

〈平成25年度末の土地保有の状況〉金額ベース 58億14百万円（対前年度 ▲88億62百万円、▲63.9%）
 〈長期保有土地（5年以上）の状況〉金額ベース 41億38百万円（全体に占める割合は71.2%）

■債務保証額の状況

〈平成25年度末の債務保証額の状況〉 15億14百万円 （対前年度 ▲135億79百万円、▲90.0%）

〈債務保証額の標準財政規模に対する割合〉

- ・ 紀の川市 8.2% （債務保証額：15億円 / 標準財政規模：183億31百万円）
- ・ 日高川町 0.2% （債務保証額：14百万円 / 標準財政規模：61億73百万円）

平成25年度第三セクター決算の概況

- 市町村から損失補償を受けている法人は2法人。
- 法人が破綻した場合に、市町村に多額の財政負担が発生するため、損失補償の縮小に向けた取り組みを進めることが必要。

□市町村から損失補償を受けている法人

- ・ 白浜医療福祉財団 損失補償額 4億57百万円 (対前年度 ▲1億42百万円)
- ・ 白浜観光自動車道 損失補償額 30百万円 (対前年度 ▲7百万円)

□経常赤字額の大きい法人

- ・ 有田川町ふるさと開発公社
経常赤字額 12百万円
(前年度は5百万円の赤字)
- ・ 九度山町柿の里振興公社
経常赤字額 11百万円
(前年度は13百万円の赤字)

□債務超過法人

- ・ 債務超過法人なし

◎第三セクターの状況

区分 年度	法人数	経常黒字 法人	経常赤字 法人	債務超過 法人	損失補償 を受けて いる法人
H25	36	21	15	0	2
H24	38	20	18	1	3
対前年度	▲2	+1	▲3	▲1	▲1

※県内市町村の出資割合が25%以上の法人を対象としています。
(複数の地方公共団体の出資割合の合計が25%以上の法人を含みます。)